

NEWS LETTER



NO.41

2012.7.20

にほんごひろば岡本

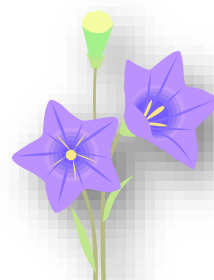
発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

「風」



しばらくの間、母の看護、介護に専念していたため、皆さんに会うのは年末のお楽しみ会のスピーチコンテストの審査の時ぐらいでしたが、今回、副代表兼教育研修担当として「ひろば」に復帰しました。母は昨秋、満月の日に九十歳で他界しました。歳に不足はありませんが、母親に死に別れた少女の気持ちをうたった童謡の「十五夜お月さん かかさんに も一度わたしは逢いたいな」（野口雨情作詞、本居長世作曲）という一節が心に沁みます。最後の数か月、何人かの訪問看護師さんと接して、文字通り温かなお手当と、人を不安にさせない穏やかな笑顔に助けられました。もちろん彼女たちはボランティアではありませんが、職業的な笑顔でなく心からの優しさはプロとしての個々の技術の優劣を超えて相手に届くのだと感じました。

さて、復帰にあたって先日「ひろば」の総会で“教育研修担当”として、これからどんな研修を望んでいるか聞いたところ「発音指導」、「ゼロ初級の文字指導」などの声が上がりました。これは以前にも取り上げたことのある項目です。それに対して私は「発音矯正も大切だけれど、それぞれのお国訛りのある日本語に寛容になること、それを許容できるようになることが私たちに求められているのではないのでしょうか」とコメントしました。地域日本語教室がミニ日本語学校にならないように、日本語学校と違う価値観を共有する場でありたいという設立当初からの思いもありました。しかしコメントしながらこの既視感のあるやりとり、息苦しい空気はなんだろうと、心にひっかかるものがありました。

その原因が私の質問の仕方にあると気がついたのはそれからだいぶ時間がたってからです。「どんな研修を望んでいますか」という質問の仕方では「〇〇のやり方を教えてほしい」としか答えようがありません。教える側から教えられる側へという“学校型”の一方通行の知識伝授。空気が淀んでいると感じたのはその私の質問のせいだったのです。

ステップアップ講座は従来通りとして、「教育研修」というなんだかお堅い学校みたいな看板は下ろします。私の役目は「ひろば」に外からの風を吹き込むこと、それがすき間風でも強風でも。最初の企画は「年少者の日本語教育」です。東灘の「こうべ子どもにこにこ会」で多文化的背景の中で生きる子供たちを相手に地道な活動をしている田代奈緒子さんに話してもらいます。皆さんと一緒に笑顔あふれる風通しの良い「ひろば」にしたいと思います。（下田美津子）

学習者紹介

★ポリヌ・ヴィオレッタ・マソンちゃん
(フランス出身)

友だちもたくさんできました

私をご紹介しますのは ポリヌ ヴィオレッタ マソンちゃん (17歳) です。

フランス出身で、2011年9月に神戸へ来ました。初めてにほんごひろば岡本に来たとき、緊張もあり日本語で挨拶するのが精一杯でしたが、今年の春から日本の高校に入学するほどの大成長を遂げました！(現在、高校3年生です)

努力家のポリヌちゃんは日本語の勉強に対して非常に熱心で、いつも新しい言葉、表現、漢字などをノートにびっしり書いて持ち歩いています。最近では日本語の勉強だけにとどまらず、日本の習慣やしきたりなども積極的に学んでいるそうです。持ち前の明るさと人懐っこさであっという間に日本の生活に慣れ、友達もたくさんでき、今では神戸が大好きになったそうです。



日本語以外にフランス語、英語、スペイン語を話すことができるポリヌちゃんの将来の目標は「語学力を生かした仕事をする事」だそうです。いつも前向きで、何事に対しても真面目に取り組む彼女と一緒にいると、私も頑張らなきゃ！という気にさせられます。かわいい妹のような存在(←厚かましい？笑)のポリヌちゃん、これからの成長がとっても楽しみです。
(佐柳 有理)

★イワノフ・ユーリーさん

(ウクライナ出身)

最初の先生は奥さん

彼は去年の1月末に来日し、3月から「ひろば」で一緒に学習しています。とても背が高く、身体も大きいのでちょっと怖そうに見えるかもしれませんが、とても明るくまじめでチャー



ミングな好青年です。

ユーリーさんは「ひろば」に来る前に日本語が上手なウクライナ人の奥さんから習って、ひらがな・カタカナは読み書きができるようになっていました。ただ、私はロシア語が全くできないので、はじめはロシア語版文法解説に頼りっきりになってしまいました。それでも少しずつ分かる日本語が出来てくると、一生懸命話してくれました。そのころから学習の時間には、いろいろと楽しい話をしてくれたりジョークを言ったりと、いつも笑いが絶えませんでした。

日本に来てびっくりしたのは治安の良さだそうです。春に花見に行った時、酔っ払いが財布の中のお金をばらまいていたけど、だれも盗ったりせず、警察も「はいはい、行きましょね」と、とても優しい姿を見て驚いたそうです。ウクライナでは悲しいけど、そういうことはあり得ないということでした。日本や日本人がとても好きだと言ってくれるのはとてもうれしいですね。

9月からはYWCAの日本語コースに通い始め、

『みんなの日本語』を使って学習をしていましたが、クラス授業はとても早いため「ひろば」ではゆっくり復習をしながら練習もしています。

今年の1月からは昼間は食品工場で働き始め、リーダーに「イワちゃん」と呼ばれ頼りにされているようです。そして3月からはロシア料理レストラン「バラライカ」で夕方からも働いています。彼は料理がとても好きで、将来は店を開きたいという夢があるので、料理の勉強になるようにと「バラライカ」の厨房の面接に行ったのですが、オーナーにルックスがとても気に入られホールで働くことになったそうです。

先日私は「バラライカ」に行きましたが、そこで「少々お待ちくださいませ」などというしっかりした敬語を話すユーリーさんを見て感動しました。また、持ち前のサービス精神と人当たりの良さでお客様にも気に入られ、いろいろ話しかけられ「うちに遊びに来て」と誘われることもあるそうです。

一度話したら彼のよさがすぐに分かってもらえる。そんなユーリーさんに皆さんもぜひ会いに行ってください。（泉 尚子）

★クルッキ・アンドレア・サカタさん
（ブラジル出身）

漢字を勉強中です

はじめまして。昨年10月から「にほんごひろば岡本」に通っています。

今年で19年間、日本におります。その期間はちょうど、私の半分の人生になりました。

はじめに日本に着いたとき、新しい事とおもしろい事がよくありました。たとえば、スーパーに行ったとき、「切りもち」を見て、「ココナツ石けん」だと思いました。そして買って、服を洗おうとしました。今思うと、おかしい事を



したと思います。

今、ブラジルに帰った時、人とぶつかると頭をさげて「すみません。」と言います。

昨年にYWCAで4カ月間日本語をならって、11月にネイルスクールに入学し、ネイリストの1級レベルを目指しています。

子どもも3人います。3人とも日本で生まれ、日本の学校へ通っています。

漢字が読めないのので、学校からの手紙がわかりません。こまります。

そのためにも、漢字をちょっとずつ勉強をしています。これからも よろしく願いいたします。

支援者紹介

★明里悦子さん

アンドレアさんとは、昨年10月から学習しています。（上の写真）

いつも、センスが良く、スタイルの良さを活かしたファッションで、いつも颯爽とやっています。

在日19年のベテランですので、日本語に関して、何ら困る事は無いとおもいました。しかし、自分のスキルアップのために漢字習得を含めて『みんなの日本語Ⅱ』を学んでいます。

昨年末には、ネイルアートの資格試験に合格し、あの難解な医療用語（すべて漢字）が、よく理解できるなあ・・・と感心しています。

次はワンランク上のネイルアート資格とN3の試験合格を目指してがんばっています

一言で言えば「よく がんばってはりますねえ」ですが、子ども3人を育てながら、父親・夫の世話をし、慣れない日本での生活は、さぞや苦勞の連続だったと思います。

いつも“しゅっ”とした 彼女の端正な佇まいから、その苦勞を窺うことはできませんが、ひろばで会う度に、自分の生き方も正される思いがします。

★前田美帆さん

みなさん、こんにちは！

今年の5月からお世話になっている前田美帆です。

私は、「大阪育ち大阪勤務」の根っからの大阪人で、現在は神戸市に住んでいます。

「にほんごひろば岡本」にお世話になるきっかけは、「友達作りも兼ねて何かしたいな〜。学生時代にしていた日本語教師のボランティアがいいな」と思い、区役所で紹介していただきました。最初は兵庫県に来て間がなく知り合いもおらず少し不安でしたが、ひろばの皆さんが、明るく迎えてくださった事が凄く嬉しかっ



たです。

現在は、ベテラン支援者の方に学習方法等を相談→学習者に支援内容の確認・学習→授業後の一人反省会・ベテラン支援者に相談、をしながら進めています。

まだまだ「ひよっこ」の私ですが、「学習者が求めているもの」を考えながら、一歩ずつ進んでいきたいと思います。

これからも、どうぞよろしく願いいたします。

★佐藤美絵さん

ホワン・チュンさんと2月から勉強している佐藤です。

日本で半年、中国で1年2カ月、日本語学校で教師として働いたあと、2年前に帰国しました。

ボランティアグループを探してひろばを見つけ、今年の2月から仲間に入れてもらっています。



外国の方にとっては、日本語の微妙なニュアンスに戸惑うこともあるでしょうが、ことばは使えてナンボです。恥ずかしがらずにどんどん使って間違えて、覚えてほしいと思います。

チュンさんがたくさんのことばを身につけて、日本滞在の数年間が有意義だったと感じてもらえるよう、お手伝いをしたいと思います。



新しい仲間ぞくぞく

2012年を迎え、ひろばにたくさん学習者や支援者がやってきてくれました。グループ毎に紹介しましょう。

神戸松蔭女子学院大学の学生ボランティア3人娘！！

神戸松蔭女子大学の一回生、新人支援者、ほんとうにフレッシュな三人のお嬢さんをご紹介します。森あかねさん、仲島彩さん、永吉真由さんの三人です。大学では、日本語日本文化学科で現代日本語を勉強しています。

どうして日本語のボランティアをしようと思ったのですか、と聞きました。「日本語教師になりたいです」「日本語を外国から来た人に教えることに興味があります」「楽しそうだと思いました」という答でした。にほんごひろばでボランティアをしていると、文化や習慣の違いがわかっておもしろいし、いろいろな質問をされるので勉強になるそうです。ふだん意識しないことを聞かれるのでむずかしいですが、それも刺激になり楽しいようです。



お互いの紹介をしてもらいました。

森さんは、やさしくて話しやすく、「これからいっしょにがんばろー！」と力をくれる人だそうです。永吉さんは、優しくてしっかり人の話を聞いてくれる、頼りになる人だそうです。仲島さんは、三人の中で一番背が高いのですが、クールでリーダータイプの人だそうです。三人とも魅力たっぷりですね。

日本語を勉強している方たちが、日本の文化に溶けこもうとしている姿に、感激している三人です。

とてもかわいらしいこのフレッシュマンを、みなさんよろしく。

by 小澤

※写真は留学生の強い希望で5ショットになりました。3人娘左から仲島さん、永吉さん、森さんです。

神戸大学留学生 From China 4人衆！！

★劉 鵬 (リュウ ポン) さん

劉さんは大学院生です。大学ではT A (Teaching Assistant) として教授のお手伝いをしているそうです。なんと英語で・・・！！中学、高校、大学で少しの約8年間、私も英語を勉強してきましたが未だ日常会話すらまともにできません。頭が下がります・・・。

劉さんは日本語能力試験のN2合格のために日々勉強に励んでいます。しかしN2は難問が多く、毎回授業では疑問の嵐です。

今回「調べてみました」で出た疑問も劉さんから出たものです。(12 ページ)

中国出身ということで漢字を見て大体の意味はわかるのですが、はっきりしない日本語独特の表現は苦手のように「なぜ？」「なにが違いますか？」「難しいねー」が口癖のようになってしまいました。向上心あふれる優秀な学習者さんです。同じ学生である私も見習わなければ・・・！といい刺激になっています。

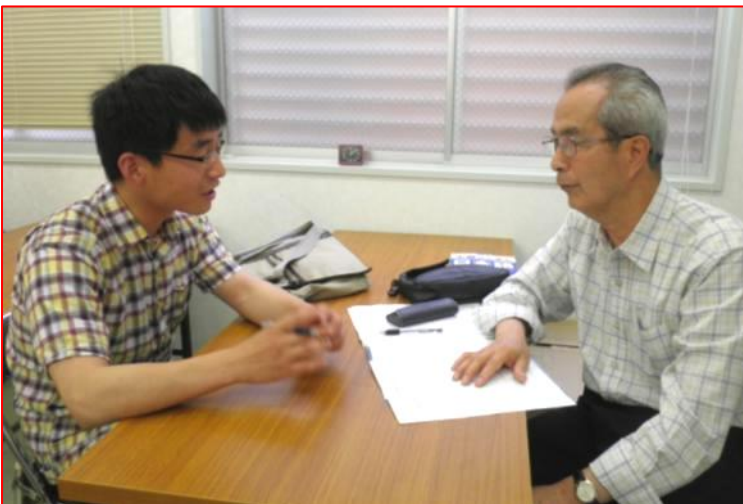
さらに劉さんは「くら寿司」のお皿洗いのアルバイトもしています。これはなかなか重労働らしく、特にお客さんの多い土日と祝日は大変だそうです。

学校とアルバイトが忙しいのでひろばのイベントにはなかなか参加するのが「難しいねー」だそうです。少しでも多くのイベントに参加して多くの人と交流してほしいと思います。真面目で優秀、だけどとってもユーモアがある劉さん。これからも一緒に勉強していきましょうね！！

by 山本



★李 延濤 (リ ヤンタオ) さん



中国から2010年10月に来日した神戸大学海事科学部の留学生です。

日本語は留学生センターで6カ月間「みんなの日本語」で勉強したのが基礎となっており、今では日常の会話はほぼ出来ます。

2012年3月からにほんごひろばで勉強を始めました。その目的は、語彙を増やししながら、日本語らしい言いまわし(文法)に通じることによって、大学の講義、日常の生活、そ